

## 1 具体的な数値目標の設定

- ・地域の現状把握、将来見通し等、根拠に基づいた数値目標設定

→2011年度(平成23年度)からのレセプトオンライン化  
膨大なデータの活用

- ・数値目標の数量化、類似都道府県比較、例示等

→比較:生活環境が類似している近隣の大阪府並に  
年齢調整死亡率を下げる(兵庫県)

例示:救急医療用ヘリコプターの導入で粟国島の  
現状値145分を55分に短縮(沖縄県)

▷ 19

## 2 数値目標相互関連の明確化

- ・SPO分類の活用

地域の現状を踏まえ、

Structure → Process → Outcomeという流れ

- ・Outcome指標の評価に限界 → Process指標重視

(t-PAによる脳血栓溶解療法実施症例数)

ただし、県民の関心は最終的なOutcome

▷ 20

### 3 数値目標達成のための事業実施

---

- ・数値目標ごとに事業の明確化
- ・計画期間中の事業実施予定
  - 工程表 H20:調査分析
  - H21:モデル事業の実施
  - H22:モデル事業の実施、評価
  - H23:全県下での本格実施
- ・行政評価のノウハウ活用

---

▷ 21

### 4 評価手法の具体化

---

- ・数値目標の達成状況だけでなく多角的な評価
  - 指標の内訳(二次医療圏ごと、年齢別等)
  - 類似都道府県との比較、
  - 実施事業との関連分析、県民意向調査
- ・広く県民参加を促した外部評価の実施
- ・予算編成過程への活用
- ・都道府県間で数値目標達成、評価結果情報共有

---

▷ 22

## 5 都道府県職員用マニュアルの作成

・第5次医療法改正によって、都道府県には積極的な役割が求められている。

→ 都道府県職員の資質向上に向けた取組

・こと細かな作成方法ではなく、今医療計画における先進的な事例、課題等を整理

→ 各都道府県における創意工夫の努力を促す

▷ 23

## おわりに

具体的な数値目標、広く評価が可能なPDCAサイクル



多くのステーク・ホルダーとの共通の議論・合意形成



県民の健康の保持に寄与

▷ 24

厚生労働科学研究費補助金

医療安全・医療技術評価総合研究事業

「医療計画におけるP D C Aサイクルによるマネジメントに関する研究」

平成 20 年度 総括研究報告書

平成 21 (2009) 年 3 月

編集：〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座

教授 尾形 裕也

TEL 092-642-6960 FAX 092-642-6961

厚生労働科学研究費補助金

医療安全・医療技術評価総合研究事業

「医療計画におけるPDCAサイクルによるマネジメントに関する研究」

平成18年度～20年度 総合研究報告書

平成21(2009)年3月

編集：〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座

教授 尾形 裕也

TEL 092-642-6960 FAX 092-642-6961